

目 次

研究紹介

- COMPASS での核子スピン構造の研究 山形大理 岩田高広 1
- LHC ATLAS Run 2 実験のヒッグス最新結果 東大 ICEPP 増淵達也, 名大理 堀井泰之 11

談話室

- 新博士紹介 21

JAHEP

- 第 347 回高エネルギー委員会 (2021.2.6) 議事録 35
- 第 348 回高エネルギー委員会 (2021.3.14) 議事録 38
- 高エネルギー物理学研究者会議総会 (2021.03.13) 議事録 39
- 事務局移転のお知らせと会員登録確認のお願い 42

お知らせ

- 高エネルギー加速器科学研究奨励会 奨励賞 (西川賞・小柴賞・諏訪賞・熊谷賞) 受賞者について 44

発 行 者

高エネルギー物理学研究者会議 Japan Association of High Energy Physicists, JAHEP <http://jahep.org>
 事務局代表 清水 格 (東北大学)
 〒980-8578 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3
 東北大学ニュートリノ科学研究センター 事務局
 TEL 022-795-6727 (事務局) FAX 022-795-6728 (事務局) E-mail hec-sec@jahep.org
 発行人・編集委員長 東北大理 中村輝石 kiseki@epx.phys.tohoku.ac.jp
 編集委員 KEK 素 深尾祥紀 fukao@post.kek.jp
 KEK 素 原 康二 koji.hara@kek.jp
 KEK 加 梶 裕志 hiroshi.kaji@kek.jp
 KEK 加 山田秀衛 shuei@post.kek.jp
 東京理大 石塚正基 ishitsuka@rs.tus.ac.jp
 京大理 隅田土詞 toshi@scphys.kyoto-u.ac.jp
 阪大理 南條 創 nanjo@champ.hep.sci.osaka-u.ac.jp
 岡山大基礎研 増田孝彦 masuda@okayama-u.ac.jp
 九大 RCAPP 音野瑛俊 otono@phys.kyushu-u.ac.jp

高エネルギーニュース 研究紹介 オンライン版 : <http://jahep.org/hepnews>

ご意見やご要望・載せたい記事がある方は、お近くの編集委員または編集委員長まで

表 紙

LHC ATLAS Run 2 実験における素粒子質量起源の検証

LHC ATLAS Run 2 実験で観測したヒッグス粒子とフェルミオン・ボソンの結合の強さを素粒子の質量の関数で示している (フェルミオンは $\kappa_F m_F/v$, ボソンは $\sqrt{\kappa_V} m_V/v$ に換算している。 $\kappa_{F,V}$ は結合強度を標準模型で規格化したパラメータ, $m_{F=t,b,\tau,\mu}$, $m_{V=W,Z}$ はフェルミオン・ボソンの質量, v は真空期待値 246 GeV である)。下のパネルは、結合強度パラメータの観測値を表しており、三桁以上の質量領域で標準模型の予想値と一致している。

高エネルギーニュース

HIGH ENERGY NEWS

